

経営比較分析表（平成30年度決算）

千葉県地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	-	I	救 臨 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	29,465	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
314	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	314
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
267	-	267

グラフ凡例

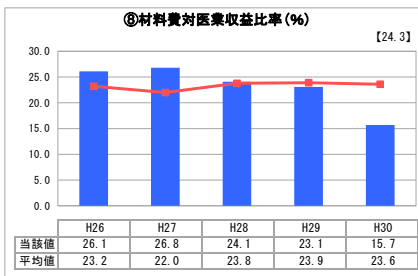
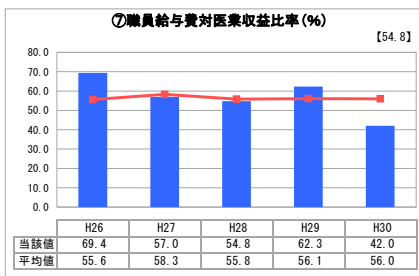
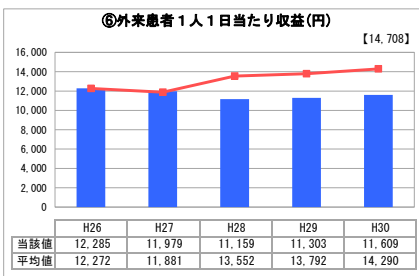
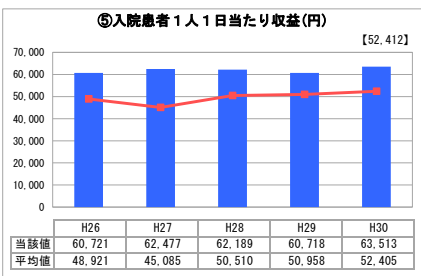
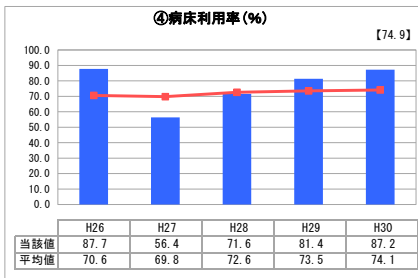
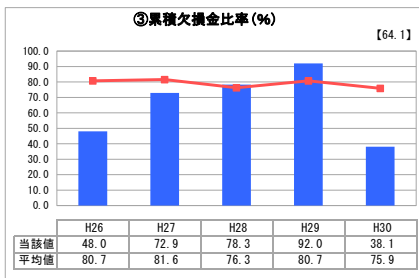
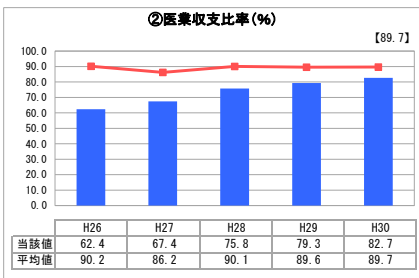
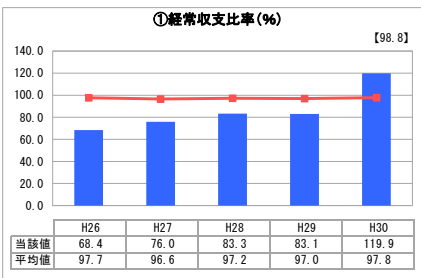
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成30年度全国平均

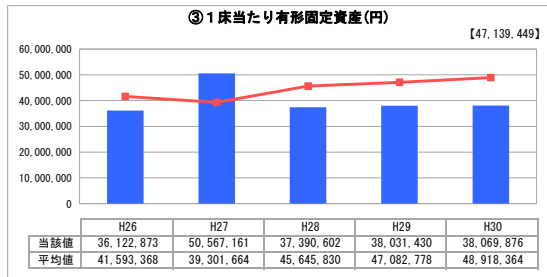
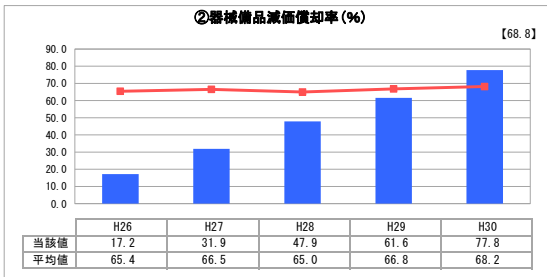
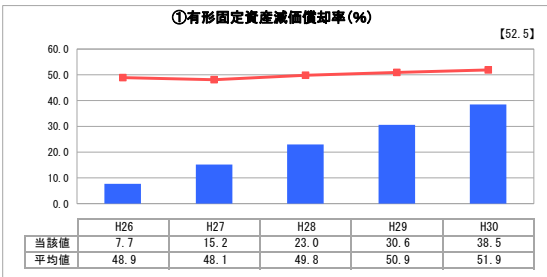
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

専断・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成22年度	平成26年度	-年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

救急医療については、山武長生夷隅保健医療圏における唯一の三次救急医療提供機関として24時間・365日体制で患者の受入れに対応するとともに、他の病院群輪番制病院との役割分担のもと、二次救急医療等に係る後方支援の充実を図っている。

地域の中核病院として、小児医療・産科医療を提供するほか、災害拠点病院として、医療救護活動における拠点機能を担っている。

また、地域医療支援病院としての承認を受け、地域医療機関等との相互連携の強化を図っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

開院（H26.4）以来、段階的な診療科の開設と病床の開稼を図りつつ、地域の管外搬送率の改善に寄与するなどといった成果を挙げている一方、医師・看護師等の医療従事者の確保の状況を受けてのフルオープンへの延期などにより、厳しい経営を強いられている。

平成30年度における千葉県からの追加財政支援（30億円）の措置といった特殊要因を除くと、経常収支比率、医業収支比率及び累積欠損金比率のいずれも、依然として費用超過の状況にあり、類似病院平均値との比較においても非常に厳しい水準にあるものと認識している。

職員給与費対医業収益比率及び材料費対医業収益比率については、段階的な病床の開稼等に伴う収益規模の拡大などにより、部分的な改善はみられるものの、なお厳しい水準にあることから、新たな施設基準の取得、材料費や委託料の適正化など、人材・施設設備を最大限に活用したなかで、収益の確保と費用の合理化に向けた取組を継続する。

2. 老朽化の状況について

平成26年4月開院の新設病院であり、計画的に施設及び機械備品に対する投資が実施されたものと認識している。

今後の機械備品の導入や更新等に当たっては、その必要性和収支状況等を総合的に勘案しつつ、中長期的な投資計画に基づいて整備していくこととしている。

全体総括

安全で質の高い医療の提供体制と安定した経営基盤の確立に向けて、中期目標・中期計画、そして新公立病院改革プランに定められた数値目標を達成するため、これまでに蓄積した成果等を踏まえ、着実に経営改善に向けた取組を進めていくこととしている。

許可病床である314床全ての稼働に向けた病床の開稼については、医師・看護師等の医療従事者の確保、医療需要の動向、病院経営の効率性、安定性等を考慮したうえで、計画的に実施していくこととしている。

今後も計画の進捗状況を適正に管理し、着実に推進していくため、設立団体・千葉県・千葉大学医学部附属病院等をはじめとする関係機関との情報共有・連携の強化に努めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。